



### 新しい年を迎えて

三篠地区社会福祉協議会

会長 水戸川 旭

新年あけましておめでとうございます。平素は三篠地区社会福祉協議会の実施する事業及び活動にご理解ご協力を賜り、心からお礼を申し上げます。

三篠地区住民の皆様の生涯教育・交流の場等としてご利用いただいております三篠公民館は、昨年開館50周年となりました。今号は「第36回を迎えた三篠公民館まつり(平成30年11月10日(土)～11日(日)開催)」を紹介させていただきます。

同まつりは、例年になく大変盛り上がった2日間でした。例年ボランティアで参加いただいている三篠社協の役員・公民館活動参加者に交じて、中広中学校生徒さんの活躍は、このまつりに欠かすことのできない大きな存在となりました。まさに、地域あげての公民館まつりとなりましたことをご報告し、感謝する次第です。

「みんなで支え合う最高のまち みささ」を目指し、今年が地域の皆様にとり、ご健勝で実りの多い充実した一年でありますことを心から祈念申し上げます。すべてに感謝！

### 三篠公民館は 開館50周年を迎えました！

三篠公民館長 熊田 一雄

三篠公民館は、地域の皆様の大きな期待のもと、昭和43年の春、当地(西区打越町)に開館し、広島市最初の地区公民館として前例がない中、その活動が始まりました。以後、公民館活動は地域に支えられながら活発に行われ、手狭となって昭和46年3階を増築し、さらに平成13年4階建ての今のビルに全面改築し、諸室を拡充してきました。

当初25であった公開学習グループは現在103に増え、平成29年度の利用者数は12万5千人余、稼働率は市内71公民館中第2位となっています。また、地域の皆様を中心とした多くの方々の御支援・御協力により多様な事業も実施され、地域の学習の場・交流の場・活動の拠点として、運営面でもますます充

実してきています。

そして、平成30年度、三篠公民館は開館50周年を迎えました。これまで館の運営や事業の推進に御尽力



くださいました多くの方々の御功績に敬意を表しますとともに、感謝申し上げます。

広島市で最初の地区公民館として開館(2階建て)



### 公衆衛生活動の推進について

公衆衛生推進協議会

会長 桑原 量

公衆衛生部は地域の健康・衛生推進の活動を通じて、福祉に貢献することを目指しています。具体的な活動は、地域清掃・健康思想の普及・献血の3本柱です。

1. 「ゴミのない町づくり」を目指し、三滝駅・横川駅周辺の散乱ゴミ収集、太田川放水路をきれいにする運動です。まずは家の前のゴミからなくしましょう。

2. 「毎年開催している健康教室」にご参加いただき、笑顔で笑いのあるシニア生活をめざしましょう。隣近所の方との挨拶から始めましょう。

3. 血液はヒト以外製造することができませんので、町内会・社協各部・介護施設・P.T.A等各方面の方々からご協力をいただいています。隣近所の方に「献血よろしく」と一声お願いします。あなたの優しさで救える命があります。



横川駅周辺清掃に出かける前に



### 障がい者福祉部会の活動

三篠地区民生委員・児童委員協議会

障がい者福祉部会長 河野 和子

当部会は、障がいを持つ子どもさんや大人の方々ととの交流事業に年3回参加し、お手伝いさせていただき、障がいの種類や年齢の違う方々と共に過ごす



ことで、参加者のあるがままの姿を見て、一人一人を大切にみつめる場としています。

### 1. いろいろな障がいを理解するための研修講座実施

平成30年度には、知的障害児の親のグループ「ひろしまあび隊」をお呼びして、知的障がいのある方が感じる不安や戸惑いを「疑似体験」を通じて学ぶとともに、思いやりや工夫次第で、ご本人の安心感が増すことも知りました。今私達は、街中でも視覚や聴覚に障がいのある方を見かける事が多くなりました。日頃から、私達で出来る事を、ゆっくり・やさしく・丁寧に話しかける勇気を持ちたいものです。

### 2. 支えあう住みよい社会は地域から

日々の民生委員・児童委員活動が、地域に根差した活動として、子どもさんから高齢者の方々まで、地域の皆様のより身近な存在となれるよう、お手伝いさせていただきますたいと願っています。

## 一人暮らし ふれあいの会

ボランティアバンクコーディネーター 若宮 登

三篠地区民生委員・児童委員協議会では65歳以上の一人暮らしの方を対象に、“ふれあいの会”を三篠地区全体で春と秋、年2回開催し毎回100名前後のご参加をいただき感謝申し上げます。



地区ブロック別での開催もそれぞれ大変好評を得ています。催しものとしては健康講座、健康体操、楽器演奏、和洋舞踊、マジック、人形劇等その都度いろいろなグループに出演を依頼しています。

公演のあとは、楽しく食事をいただき、よもやま話に花を咲かせ、最後にビンゴゲームで一段と盛り上がり、参加者全員にお土産を持ち帰っていただきます。最近では年々参加者が増えていますが、男性がまだまだ少ないので是非ともご参加をお待ちしています。



### 高齢者いきいき活動ポイント事業

地域福祉推進委員 久保田 守

ご存知でしょうか！広島市内在住の70歳以上の高齢者が、自らの健康づくりや、介護予防のため、地域でのボランティア活動に資する、広島市高齢者いきいき活動ポイントも2年目を迎えました。

三篠地区には各町内会単位での「いきいきサロン」が38あり活動ポイント事業に登録されています。

さらに、三篠地区社協、三篠公民館、西区健康長寿課が共同企画し三篠地区の住民が中心となって運営し

ている「みさき元気アップのれん」は9年目となり、同事業に登録しています。毎月第一・三木曜日午後1時半から3時迄三篠公民館で開催しております。中でも毎月第一木曜日の「椅子に座ってできる健康体操」は4年目になり、介護予防、健康増進に大変役立っております。

## 三篠児童館だより

三篠児童館館長 加藤 圭子

児童館は、子どもたちが楽しく安心して過ごせる場、仲間づくりができる活動の場として毎年、遊び・季節行事・工作などを企画し運営しています。しかしながら児童館だけの力ではなかなか子どもたちに十分な活動の場を提供することがむづかしい環境の中、横川ふしぎ市や公民館まつりなどへの出店の機会を与えてくださり、母親クラブ(地域活動協議会)との共催事業や人的援助など、心強い支援もいただき、子どもたちの活動がとても豊かなものになっています。



日々の活動としては年齢の枠を超えて楽しめる卓球が三篠児童館の今のブームです。小学生・中学生が一緒になって練習をして少しでも上手になりたいとの思いで頑張っており、学校のクラブに入るきっかけになっている子どもも少なくないようです。また高学年の子どもたちが下の子どもたちに、ルールや技術を指導する場面も多く見られます。

私たちは、これからも一人でも多くの子ども達に「ぼくは・わたしは児童館で育ったよ!」と言われるような児童館にできたらと思いながら頑張っていきたいと思えます。



### ふるさと「三篠」の学習

三篠小学校校長 岡崎 美佐子

本年度、三篠小学校は児童数749名、27学級でスタートしました。全国的に児童数は減少傾向にある中、本校は毎年少しずつ児童数が増加しております。これはひとえに社会福祉協議会の皆様やこの三篠地区にお住まいの方々の街づくりにかける熱い思い、また、活気のあるそして人々の交流のある住みやすい街づくりのためにご尽力いただいているおかげと感謝しております。

子どもたちも様々な場面で地域の方々と交流をさせていただいております。先日行いました学習発表会で、6年生は「Home Town 人々の挑戦」という内容の劇を発表しました。地域の方々から三篠の町の歴史や現在の街づくりへの思いをお聞きし、自分たち



が生まれ育ったこの三篠の街を大切にしよう、自分たちにできることを考えようという内容でした。

このような学習活動を行うことができるのは、地域にお住まいの皆様方とのふれあいがあればこそと思います。今後も地域の皆様との交流や、太田川・三滝山などの自然や商店街などでの体験活動など、様々なことを通して児童の心身ともに健全な育成に力を注いでいきたいと思っております。



## 中中(なかちゅう)だより

広島市立中広中学校

校長 野澤 久美

本校は、「心身ともに健康で社会に役立つ自主的行動のできる生徒」の育成をめざし、体験や活動を通して生徒の視野を広げさせたり、今の自分と社会とのつながりを考えさせたりするキャリア教育に力を入れています。地域学習や認知症サポーター養成講座、高校出前授業や民泊体験を柱にした修学旅行、リクルート活動から始まる職場体験学習などは、その学習の一部です。

しかし、なんとといってもこの三篠地区では、横川ふしぎ市や三篠公民館まつりを代表とした地域行事や活動に参加させていただいていることが、生徒たちにとって、大変価値ある学びとなっています。多くの生徒たちが、様々な場面で多様な役割を与えていただき、「中広中の生徒がいないと行事が成り立たない」とまで言ってもらっています。「今の若者は自分に自信がない」とよく言われますが、幸いにも本校生徒は、「自分にもできることがある」「自分たちは地域の役に立っている」ことを実感し、この自己効力感が生徒たちの生きる力の源につながっています。生徒の自己肯定感が年々高まっていることが感じられ本当に嬉しく、これも地域の皆様のお陰と感謝いたします。

生徒たちへの願いを「頼」という字に託し校長室前に掲示しています。「頼りにされ信頼される、頼もしい人になってね。頼んだよ。」と。

「地域の子どもは地域で育てる」という大変恵まれた環境のもと、ふるさとの温かさを感じながら、社会へ出る準備をさせていただいています。



## アンジュヴィオレ広島について

NPO法人 広島横川スポーツ・カルチャークラブ

事務局長 三谷 光司

10年前は西区にあまり縁がありませんでしたが、会社のサラリーマンとして「街の活性化」を提案していくなかで、横川商店街の村上理事長に出会い仲間とともに3つの提案をしました。それが「サッカータウ

ンプロジェクト」、「かよこバス活用委員会」、「アートスクエアプロジェクト」です。広島駅が赤で染まるなら横川駅は紫で染めようと動いた活動のお陰で、県サッカー協会の女子委員長から広島になでしこリーグを目指す女子サッカーのチームが無いと県外に出た選手が帰れないし女子サッカーが根付かない、ヨーロッパのように横川から市民球団としてチームを作ってくれないかとお願いに来られました。その時ビックリしたのが、子供会・体協などのボランティア団体の責任者の方々と商店街関係の営利団体の方々が集まれて話を聞かれた上に、その中の一人が「就職先と住むところを探すだけで良ければリスクはないしね!」と言われ、あっという間に「女子サッカーチーム」を作ることになったことです。あれこれ構想中に、なでしこジャパンがワールドカップで優勝してしまい、訳の分からないままNPO法人を取得し、公式戦の1週間前に初めての合同練習を行い、県リーグに参戦しました。選手が頑張ってくれ一年目全勝優勝、2年目無失点で全勝優勝、3年目チャレンジリーグ参入、4年目なでしこリーグ2部に参戦し、駆け足で階段を登りました。いよいよトップリーグに手が届くところまで来たと思ったらチャレンジリーグに降格し、来年こそはとみんなで頑張っているところです。昼間は働きながら休みなしで頑張っている彼女たちに暖かい応援を頂くことが、大きく昇格に前進できる原動力となります。地域の皆さまの試合会場での大きな応援をよろしくお願いいたします。

## 三滝で「勾玉」が見つかった!

三滝本町二丁目民生委員・児童委員

(いきいき三滝塾+ギャラリー代表) 真崎 清博

勾玉は先史・古代日本の装飾品の一種である。古墳時代頃からは「威信財」とされ、権威・権力の象徴であった。その勾玉が、三滝本町二丁目の福祉施設三滝苑近くの標高50~60mの緩斜面周辺で見つかった。戦後に地権者が発見・採集・保管していたが、昨年の夏、三滝本町在住の元広島県の学芸員、三枝健二氏により、概ね5世紀代の所産と認定された。1つは碧玉製、3つは璃瑠製である。サイズは、最小の1つが最大長2.80cm、最大幅1.70cm、頭部最大厚0.90cm、重量5.9gである。3つはほぼ同サイズで、最大長3.30~3.65cm、最大幅2.00~2.25cm、頭部最大厚0.80~1.00cm、重量8.3~12.4gである

三枝氏によれば、現地には、石室や石棺などの石材が見られないことから、土壌墓などの小規模古墳が存在した可能性が高く、推定される被葬者は、可視範囲



の三滝本町から打越町・三滝町・三篠町などにかけて広がる沖積地を生産基盤に持つ地域の首長層などが想定できるが、当時の広島湾海岸線の位置にも関わりをもつので明確なこ



とは今後の課題とされる。

ところで、三滝で勾玉が見つかったことは、私たちにとってどんな意義があるのだろうか。弘法大師が開いたとされる三瀧寺は9世紀初めであるが、勾玉の発見により、三滝・三篠の歴史が古墳時代にまで、つまり約1500年以上前まで遡るということである。長束から祇園にかけては弥生時代集落～中世山城に及ぶ多数の遺跡が遺されているが、ここ三滝からも、古墳時代以前の遺跡が見つかる可能性も高い。なお、勾玉の現物は、近いうちに三篠公民館において公開展示される予定である。

参考文献 三枝健二；三滝本町二丁目付近採集の勾玉について、NPO法人広島文化財センター会報誌、『サポート通信』Vol. 27(平成30年10月20日)

## 武将茶人上田宗箇と縮景園 —宗箇松再会ウオークでの想い—

三篠一丁目町内会長 寺岡 武

「宗箇」が植えた初代宗箇松は、明治維新後に落雷を受け枯死、二代目は、先の第二次大戦時、敵機の目標になるとして軍により伐採され、昭和36年植樹の三代目は、「マツクイムシ」によって枯死。四代目は、広島県林業技術センターで害虫に抵抗力を持つ松の研究で育成された「広島スーパー松」で、平成10年11月29日宗箇山山頂に植樹されました。「宗箇松の生長を見守る会」主催で、平成20年に植樹10周年、平成30年11月に同20周年を記念する「宗箇山山登山ウオーク」に参加しました。

上田重安(宗箇)は桃山時代からの武将で又優れた茶人でもあり、丹羽長秀の家臣上田重元の息子として、永禄6(1563)年に尾張国 星崎で生まれる。10歳の時父が死亡したため、それからは祖父に育てられる。上田重安は丹羽長秀に仕え、20歳の時、本能寺の変(天正10(1582)年)が起り、すぐさま秀吉の弔い合戦に長秀とともに参加して、光秀に味方した織田信澄を討ち果たし、天下にその勇名を馳せる。長秀の死後、秀吉の側近くに仕え越前1万石を領し、秀吉の茶匠である千利休に茶道を学んだ。

「宗箇」は元和5(1919)年、広島城二代藩主 福島正則改易後の浅野藩初代藩主長晟に従って広島に入国した浅野藩の家老で、翌年、長晟の命により、別邸泉水屋敷「縮景園」を作庭する。晩年は、窯を築いて茶碗を焼くなど茶の湯三昧であったと伝えられています。

参考資料(宗箇松物語、広島市三篠郷土史、ひろしまし歴史の散歩道、戦国武将など)

### 訃報

栗栖教二さんは広報委員・子ども会役員・公民館活動などの社会福祉活動で活躍されていましたが、平成30年11月不慮の事故で永眠されました。故教二氏への三篠地区社会福祉協議会福祉活動への感謝とともに、心からのご冥福をお祈りいたします。

## 三篠地区社会福祉協議会 役員名簿

(平成30～31年度)

役職	部署名	氏名(町内会長等)	
会長		水戸川 旭	
副会長 理事	総務・公衆衛生部部长	桑原 量	
	民生部部长	久保田 蓋世(三篠地区民児協会長)	
	地域福祉推進委員	久保田 守(西区地域福祉推進委員)	
	体育部部长	滝山 瑞枝	
	児童委員	神村登紀恵	
	緑地・リクリエーション	若宮 登(楠木町一丁目町内会長)	
理事	経理部部长	高津 明伸(横川商店街連合会会長)	
	防災部部长	沢井 昌一(三篠町二丁目町内会長)	
	町内会長		寺岡 武(三篠町一丁目町内会長)
			馬場 伸之(横川町一丁目町内会長)
			沖田 清輔(横川町二丁目町内会長)
			土居 晃(横川町三丁目町内会長)
			横山 卓二(横川新町町内会長)
			福田 真典(スカイプラザ横川自治会長)
			沖田 晴信(打越町内会長)
			山田利英子(中広町三丁目町内会長)
			高田 恭三(三滝町町内会長)
			田中 正志(三滝本町一丁目町内会長)
			石田 守(三滝本町二丁目町内会長)
			太田 博文(三滝観音台町内会長)
			川崎 博行(竜王町町内会長)
			森島 誠司(山手町町内会長)
			子ども会育成部部长
	青少年育成部部长	宮本 政宜	
	老人福祉部部长	向井 進	
	交通防犯部部长	松前 卓三	
	母子福祉部部长	室積 久代	
	更生保護部部长	砂原 克規	
	広報部部长	三好 康之	
	小学校PTA会長	野上 光康	
参与		熊田 一雄(三篠公民館館長)	
監事		高津 明伸	
		馬場 伸之	

### 編集後記

「三篠のふくし通算27号」は三篠地区社会福祉協議会会員の皆様の日常活動の一端を紹介する内容を中心に公募し、応募原稿を編集いたしました。紙面の都合で原稿を掲載できなかったり、内容を趣旨の変わらぬように編集したりした場合もございます。会員の皆様からの本誌に対する忌憚のないご意見、感想をお寄せ下さい。現在の広報委員は2名(三好・森島)です。

(広報部広報委員会 代表 三好 康之)

